第六回

長唄浴衣会

御招待

主催　音子の会
-neko no kai-

指導　杵屋佐次円

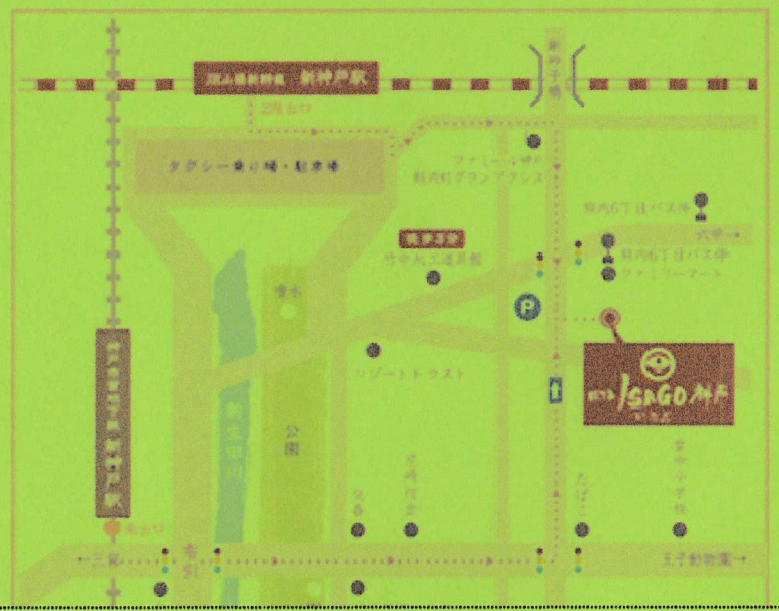
会場　料亭旅館　ほてる ISAGO（いさご）　JR新神戸駅より徒歩5分

日時　平成三十年七月八日(日)十二時　開演（開場　十一時三〇分）

料亭旅館　ほてる ISAGO（会場）

〒651-0056

神戸市中央区熊内町4-3-7



（連絡先）杵屋佐次円(きねやさじまろ)

sajimaro.kineya@gmail.com

http://sajimaro.main.jp/

番組

唄

三絃

三絃主奏曲
一、春興　辰寿広美

一、操三番叟　杵屋佐喜之　千田英子

勝三郎
一、連獅子　杵屋佐喜之　曽我部美樹

一、五色の糸　杵屋佐喜之　明治智美

七世杵屋佐吉　作曲
一、鵯越　杵屋佐喜之　田中祐一　杵屋佐吉　杵屋佐次円

四世杵屋佐吉　作曲
一、五月雨　杵屋佐喜之　杵屋佐次円　杵屋佐吉

千穐楽

賛助出演

長唄佐門会　家元

七世
杵屋佐吉（URL　www.samonkai.com）

昭和二十八年、五世佐吉の次男として東京に生まれる。玉川学園高等部卒業後、
曾祖母の名、佐喜を襲名。
二十三歳の時、イタリアで三年ごとに開かれる演劇祭
（インコントラツィオーネ）に「千手魚神太鼓」の作曲、演奏で参加。
二十四歳から稽古場のある静岡県島田市の帯祭で第二街屋台を受け持つ。
平成四年より国立劇場小劇場に於いて、長唄小曲〈芙蓉曲研究会〉と
代々杵屋佐吉の作曲作品発表会である〈杵屋佐吉の会〉を主催。
めずらしい三味線のコレクターでもあり、楽器としての三味線の研究も心掛けている。

一般社団法人長唄協会　副会長、現代邦楽作曲家連盟　理事
和楽器の未来を創る研究会　理事
重要無形文化財「長唄」総合認定保持者、樂明會同人

杵屋佐喜之

杵屋佐喜勝師の取り立てにより、昭和五十五年
五世杵屋佐吉御家元より流名をゆるされる。
関西を拠点として、舞踊会・演奏会・歌舞伎公演に多数出演。
荻江寿友師より、平成元年、流名をゆるされ、荻江節の舞台を勤める。
奥深い邦楽の世界で、現在も研鑽しつつ取り組んでいる。